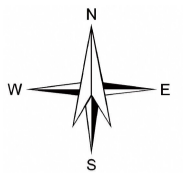


# 雨水出水浸水想定区域図（想定最大規模降雨）

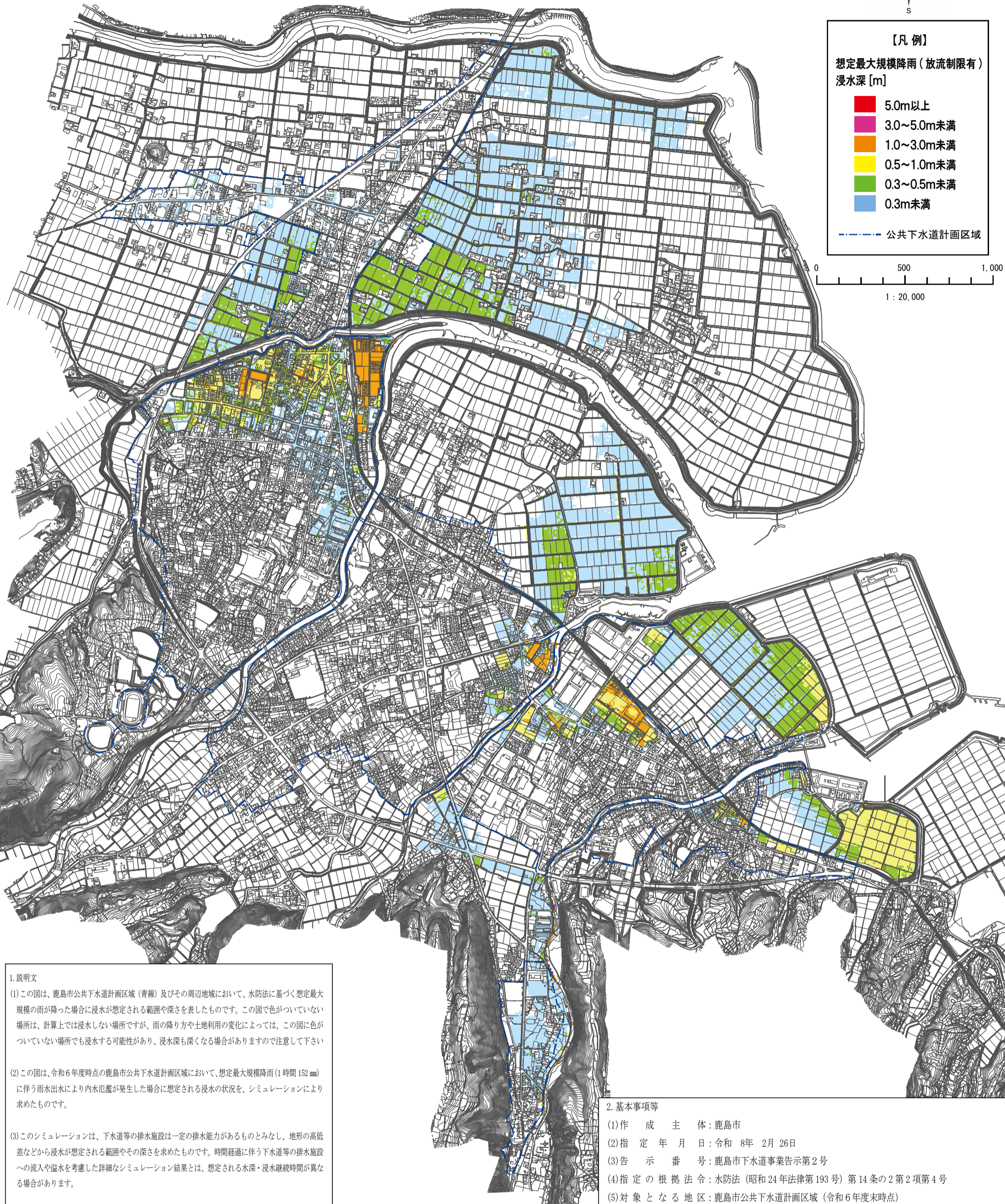
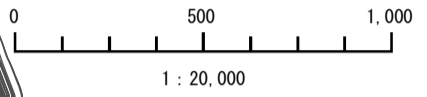


【凡例】

想定最大規模降雨（放流制限有）  
浸水深 [m]

■	5.0m以上
■	3.0~5.0m未満
■	1.0~3.0m未満
■	0.5~1.0m未満
■	0.3~0.5m未満
■	0.3m未満

--- 公共下水道計画区域



1. 説明文

(1) この図は、鹿島市公共下水道計画区域（青線）及びその周辺地域において、水防法に基づく想定最大規模の雨が降った場合に浸水が想定される範囲や深さを表したものです。この図で色がついていない場所は、計算上では浸水しない場所ですが、雨の降り方や土地利用の変化によっては、この図に色がついていない場所でも浸水する可能性があり、浸水深も深くなる場合がありますので注意して下さい

(2) この図は、令和6年度時点の鹿島市公共下水道計画区域において、想定最大規模降雨（1時間152mm）に伴う雨水出水により内水氾濫が発生した場合に想定される浸水の状況を、シミュレーションにより求めたものです。

(3) このシミュレーションは、下水道等の排水施設は一定の排水能力があるものとみなし、地形の高低差などから浸水が想定される範囲やその深さを求めたものです。時間経過に伴う下水道等の排水施設への流入や溢水を考慮した詳細なシミュレーション結果とは、想定される水深・浸水継続時間が異なる場合があります。

(4) このシミュレーションの実施にあたっては、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、津波、高潮、洪水（河川の破堤または越水）による氾濫等を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際と異なる場合があります。

(5) このシミュレーションは、放流先の河川水位を大潮の満潮時と想定最大規模降雨が重なり、氾濫の危険がある水位まで上昇した場合としています。

(6) 水害時において避難や水防活動を開始するタイミングは、お住いの状況等により異なることから、自らの判断で適切に行動してください。

2. 基本事項等

(1) 作成主体：鹿島市

(2) 指定年月日：令和8年2月26日

(3) 告示番号：鹿島市下水道事業告示第2号

(4) 指定の根拠法令：水防法（昭和24年法律第193号）第14条の2第2項第4号

(5) 対象となる地区：鹿島市公共下水道計画区域（令和6年度末時点）

(6) 指定の前提となる降雨：想定最大規模降雨（1時間152mm）

(7) 浸水想定手法：浸水シミュレーション手法 [降雨損失・氾濫解析のみを実施（下水道等の排水能力は一定で考慮）] ※中村、乙丸排水区のみ降雨損失、氾濫解析、表面流出、管内水位モデルでシミュレーションを実施。

(8) 境界条件：想定最大規模降雨と有明海の大潮の満潮時が重なり、放流先の河川の水位が上昇して水路からの排水やポンプ放流ができないことを想定（放流不可時間：6時間）

(9) その他計算条件等：国土地理院5mメッシュ数値標高データを使用し、内挿法により10m（100㎡）メッシュを作成して地表面をモデル化